



⑤ 自主防災会では防災婦人部による視察・研修(小千谷・長岡)を実施しました。

⑥ 11.25福祉文教部会による「しもまちお互いさまランチ」オープニングセレモニーが開催され、参加者は120名で外にボランティアをふくめ160名となり、その後1.27第2回・2/24第3回を実施

⑦ 11.29西海岸将来像第1回懇談会に参加。

⑧ 12・15安全環境部会による防犯・安全パトロールを実施しました。

⑨ 1.12、13福祉文教部会では第6回全国校区小地域活動サミット in KOBE・ひょうごに4名参加。

⑩ 1.18コミ協新年会を駅前クオリスで開催(47名)

⑪ 1・29「中央区地域活動ふれあいの集い」がりゅーとぴあで開催され、活動パネルを展示4名参加。

⑫ 2.3安全環境部会でガーデアン・エンジェルスによる講演の研修会を開催。

⑬ 2.17コミ協懇談会を開催。(参加者47名)

総務部会

コミ協の活動状況

総務部会 村木正徳

24.10.1発行のコミ協だより10号に引き続きその後の活動状況を報告いたします。

① 9.25西区黒崎南部公民館に於いて西コミ協視察・意見交換会に出席(田村・村木)

② 9.29安全環境部会が防犯・安全パトロールを実施しました。

③ 10.7市民マラソンが開催され、当コミ協よりボランティアとして20名が参加しました。

④ 10・14恒例となりました福祉文教部会による「ふれあいウォーキング」が実施され、143名が参加しました。

「地域活動」に展示したポスター(縮尺のため文字はよめません)

1月29日 地域活動ふれあいの集いで当コミ協が出品したポスターです。

自主防災会の活動



安全環境部会の活動



総務部会の活動



福祉文教部会の活動



編集後記

☆本年度の第2号をお届け致します。

☆3.11から丸二年。復興の兆しも感じられますが、この体験を如何に活かすかは私達に掛かっています。体験者によれば、地震発生からの時間が極めて短いため、避難所の選定不相当だったり、避難支援などで避難場所へ逃げきれず亡くなった方が多数おられたとの

こと。私達にできる事は ①家庭内の減災の準備 ②所定時間内に到達できる避難所の選定 ③防災意識の高揚 である。自分と家族の命を守り、被害を最小限にするために日々の準備が肝要といわれています。災害の再来のないことを祈りつつ。

編集委員;鈴木喬、高橋誠一、田村幸夫
村木正徳、明間博隆、古寺昭治

入舟 コミ協だより

第11号

発行: '13.3.20

発行所: 入舟小学校区

コミュニティ協議会

責任者: 総務部会 村木 正徳

TEL 222-3884



防犯研修会

日本ガーデアン・エンジェルスをお迎えして

防犯協会会長 高橋 誠一

当会は①中央区でもいち早く青色防犯灯への交換推進と助成、②振り込め詐欺撲滅のため、各交番所員の皆さんが演技した、地域の人達が被害に遭わないようにとの寸劇を含む研修会、③新潟市の公立学校では初の児童の授業として、入舟小に取り入れて頂いた、拉致被害周知のための、二回目のアニメ「めぐみ」上映会、など先進的に活動を行ってきました。

活動する上での限界を感じる時があります。それはパトロール中に強盗や泥酔者に絡まれたりした場合どのように対処したらよいか戸惑うことです。

そこで大都市の繁華街で活躍されている防犯のスペシャリストを東京から招き、講演会を企画しました。その設立経緯と活動内容等お聞きし、私達のこれからの活動に役立てたいとの思いからです。この団体は東日本大震災にいち早く支援活動を

行い、各種団体の手本となっています。

除雪機操作講習会を開催

新潟市では一昨年から児童通学路やお年寄りの歩行に困らないように、歩道の除雪を行う団体へ、除雪機を無償貸し出しする事になりました。これを受け当会は、新潟市が行う操作研修会に数名を派遣いたしました。平成25年2月17日この方々をリーダーとして、地域の皆さんを集め除雪機体験会と講習会を行いました。

毎年スコップやスノーダンプで大変な苦勞で除雪なさっている皆さまには、この除雪機は大変便利なものであります。しかし使用方法によっては大変危険な機械にもなりますので、安全な操作方法を伝授いたしました。

豪雪時に児童やお年寄りが安心安全に歩道が歩けるように、手軽に除雪ができるこの機械の講習会を毎年行いますので、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

安全環境部会





第6回ふれあいウォーキング 福祉文教部会 古寺 昭治

10月14日(日)爽やかに澄みわたった秋空のもと、「第6回ふれあいウォーキング」が実施されました。参加者は園児から大正生まれの長寿者に到る4世代145名(内、子供37人)の参加を頂きました。今回の行程は舟栄中裏手の西海岸公園から日和山を経て、寄居変電所前までの折り返し約4.7km(1時間20分)です。9時半公園広場に集合、鈴木(正)部長及び来賓(入舟小今宇ノ井教頭、中央社協稲垣局長補佐)の

挨拶、栗川さん(スポーツ振興会)の指導による準備体操の後、ウォーキングを開始。青い海原からそよぐ風も心地よく、また、松風をききながら赤とんぼも舞うなか、お互いのペースで歩く楽しいウォーキングとなりました。

正午前には出発地点に全員が到着。スタッフが準備した特製弁当を頂き、午後1時無事終了する事が出来ました。このウォーキング行事を通じて住民相互の親睦と交流を図りながら、お互いの絆を深めて頂くものです。更に、健康維持の一助になれば、との企画です。今回参加できなかった方も次回にご一緒如何ですか。お待ちしております。



にて、「入舟小ダンスチーム」によるダンス、「あおぞら歌劇団」の演劇かぐや姫、「アロハ・カーコ」のフラダンスを楽しんで貰いました。この日は婦人部によるオリジナルの豚汁が振る舞われました。第3回(2月24日)は参加者約50名。コミセンにて、写真家中野賢司氏のトークショー、村上昭子先生による「笑いのヨガ」の実践も行われました。3月中には第4、5回の実施も予定している所です。次回もたくさんの方の参加をお待ちしています。お楽しみに。

福祉文教部会



しもまちお互いさまランチ

平成24年度、区役所健康福祉課の企画による超高齢地域支え合いモデル事業に参画するものです。65才以上の人口が3割を超す下町地域では、お年寄りを様々な形で支えながら地域の活性化に繋げようとワンコイン(500円)による芸能付き昼食会、名付けて「しもまちお互いさまランチ」を実施しました。初回(11月25日)は入舟小学校ランチルームにて、オープニングセレモニーを開催、160名の参加者の方から、マジックショー、津軽三味線、歌声コーラス等のショーを楽しんで頂くことが出来ました。第2回(1月27日)は80余名の参加で、北部コミセン



防災研修会

自主防災会 明間 博隆

3/10、下記に示す講演と報告の防災研修会を開催しました。その概要を記します。参加者約80名。

(1)講演 「東日本大震災の被害状況と地域活動」 講師 陸前高田市社協 安田 留美氏

【昨年、3.11。人口2.4万人の陸前高田市は震度6弱の激震にみまわれ、30分後15分の津波に襲われた。1,550名が死亡し、220名が行方不明である。世帯の約50%が被災した。被災後、83ヶ所に避難し、ピーク時の避難者数は9,773名、一ヶ所での収容数最大1,000名。

連絡は町内の本部⇒11のコミ協⇒市役所のルートで物資の分配などは口頭で地区へ伝えた。民生委員83名中11名が死亡。防災の意識の低い人を避難させようとしたためである。津波警報の第1報が3分であったため、津波が堤防を超えることは、「まず無いだろう」と軽く考えその為逃げ遅れた方々が犠牲になった。津波の襲来は波状的であって、収まって最終避難所に移動したのは数～十時間後であった。】

以上の講演を聞いて、警報以上の津波がくる恐れがあるので、出来るだけ高いところに避難することが大切であると思いました。また、津波はナイアガラの滝のような轟音と共に水の塊が早い速度で押し寄せて来るため、正確に言葉では言い表せない状況だった、との話が印象に残りました。一刻の猶予もなく、避難することが肝要であると強く思いました。

自主防



(2) 婦人部研修視察

10/20、入舟小前を9時半に出発し、中越メモリアル回廊のきずな館(川口)及びそなえ館(小千谷)を見学し、4時に終了した視察でした。参加者32名。きずな館では中越大震災の復興のあゆみを、そなえ館では震災直後の室内を再現した展示をそれぞれ見学し、また震度7を体験しました。災害地に行つてなまのお話を聞き大変勉強になり、今後の訓練の中での教訓にして行きたいと思いました。

体験者のお話の中で印象が深かったのは近隣との信頼関係が大事であること、及び災害は起きるものと思つて日頃より減災に取り組むことの2点です。そこで、家具の転倒や棚からの落下物の対応などを、想定しての日常の準備が大切と思いました。また、常に地域でのイベント等に参加し、いろいろな方々と顔の見えるお付き合いが災害時での心の支えになり、最大の力になると、研修会を通して強く感じました。

